

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

「1ドル=110円→120円」は円安、「1ドル=110円→100円」は円高と呼ぶ。円高は、輸出には不利になるが、日本人の海外旅行客が増加する要因になる（輸入物価は下落）。他方、円安は、輸出に有利、インバウンド観光客の増加要因となる（輸入物価は上昇）。このように刻々変化する為替は経済活動に影響を与える。前半は、国際金融の役割、外国為替市場、債券市場、株式市場など、後半は、フィンテック、金融政策と金融市場、欧州通貨統合、機関投資家とコーポレートガバナンスなどについて講義する。内外の金融商品を提供しているみずほ証券の国際部門・調査部門での実務経験に基づいて、国際金融市場の分析手法・取引実態について詳しく講義する。

授業計画

第1回	金融および国際金融の役割
第2回	株式市場1：発行
第3回	株式市場2：流通
第4回	債券市場1：発行
第5回	債券市場2：流通
第6回	外国為替市場1
第7回	外国為替市場2
第8回	オルタナティブ市場
第9回	金融派生商品
第10回	フィンテック
第11回	国際金融市場
第12回	金融危機と金融の安定
第13回	金融政策と金融市場
第14回	国際金融投資1：収益性
第15回	国際金融投資2：リスク管理
第16回	期末試験

到達目標

金融機関の実務では、どのような分析、取引を行っているかを説明します。

- ・国際金融の役割、株式市場、債券市場などについて、ノートテイキングができること
- ・金融政策など国際金融の現状を理解し、課題について考えることができること。
- ・授業やテキストを踏まえて、国際金融の課題について解答することができること。

履修上の注意

30分以上の遅刻は欠席とします。単位取得のため、10回以上、出席してください。指示されたとき以外はスマホを使用しないようにしてください。国際経済論、欧米経済事情も履修することが望ましい。

予習・復習

テキストや自作ノートを用いながら講義の予習・復習をしてください。国際金融の現状についても講義するため、日本経済新聞などをよく読んでください。授業中、小テストに解答できなかった場合、復習として回答を認める。

評価方法

小テスト（50%）、期末試験（50%）。小テストはテキストに沿って毎回3問。

テキスト

教科書名：これさえ読めばすべてわかる国際金融の教科書（税込2970円）

著者名：川野祐司

出版社：文眞堂

出版年（ISBN）：2019年（978-4-8309-5049-0）